思う 誰かを 今日も
odakyu

NEWS RELEASE

第２６－２８号　　２０２６年１０月１４日

小 田 急 電 鉄 株 式 会 社
取締役社長　鈴 木　滋
本社　東京都新宿区西新宿２丁目７番１号
（コード番号　９００７　東証プライム）

無担保社債発行に関するお知らせ

当社では、２０２６年１０月１４日に、機関投資家向けとなる第９４回無担保社債（社債間限定同順位特約付）および第９５回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）の条件を決定しましたので、発行概要についてお知らせします。

当社グループでは、 経営ビジョン「ＵＰＤＡＴＥ 小田急～地域価値創造型企業に向けて～」の下、社会や環境への配慮を重視するサステナビリティ経営により、事業活動を通じた社会・環境課題の解決と地域の持続可能性向上に取り組んでいます。こうした事業活動を一層円滑に進めていくため、２０２５年１１月にはサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定しており、第９５回無担保社債（グリーンボンド）は、同フレームワークに基づくものです。

記

１　第９４回無担保社債

⑴	社 債 の 名 称	小田急電鉄株式会社第９４回無担保社債 （社債間限定同順位特約付）
⑵	発　行　額	金１０５億円
⑶	各社債の金額	１億円
⑷	払 込 金 額	各社債の金額１００円につき金１００円
⑸	利　　率	年２．７３２％
⑹	条 件 決 定 日	２０２６年１０月１４日
⑺	払 込 期 日	２０２６年１０月２８日
⑻	募 集 の 方 法	一般募集
⑼	償 還 価 額	各社債の金額１００円につき金１００円
⑽	償 還 期 日	２０３１年１０月２８日
⑾	償 還 の 方 法	①　本社債の元金は、償還期日にその総額を償還する。 ②　償還すべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前

銀行営業日にこれを繰り上げる。

③　本社債の買入消却は、払込期日の翌日以降いつでもこれを行うことができる。

⑿　利　　払　　日　　毎年４月２５日および１０月２５日
（初回２０２７年４月２５日）
※　利息を支払うべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。

⒀　担　　保　　本社債には担保ならびに保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。

⒁　財務上の特約　　担保提供制限が付されている。

⒂　財 務 代 理 人　　株式会社三菱ＵＦＪ銀行

⒃　引　　受　　団　　ＳＭＢＣ日興証券株式会社、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社、および野村證券株式会社

⒄　発行・支払代理人　　株式会社三菱ＵＦＪ銀行

⒅　申込取扱場所　　引受会社の本店および国内各支店

⒆　振　替　機　関　　株式会社証券保管振替機構

２　第９５回無担保社債（グリーンボンド）

⑴　社 債 の 名 称　　小田急電鉄株式会社第９５回無担保社債
（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）

⑵　発　　行　　額　　金２１５億円

⑶　各社債の金額　　１億円

⑷　払　込　金　額　　各社債の金額１００円につき金１００円

⑸　利　　率　　年３．４２８％

⑹　条 件 決 定 日　　２０２６年１０月１４日

⑺　払　込　期　日　　２０２６年１０月２８日

⑻　募 集 の 方 法　　一般募集

⑼　償　還　価　額　　各社債の金額１００円につき金１００円

⑽　償　還　期　日　　２０３６年１０月２８日

⑾　償 還 の 方 法　　①　本社債の元金は、償還期日にその総額を償還する。

②　償還すべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。

③　本社債の買入消却は、払込期日の翌日以降いつでもこれを行うことができる。

⑿　利　　払　　日　　毎年４月２５日および１０月２５日
（初回２０２７年４月２５日）
※　利息を支払うべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。

⒀　担　　保　　本社債には担保ならびに保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。

⒁　財務上の特約　　担保提供制限が付されている。

⒂　財務代理人　　株式会社みずほ銀行

⒃　引　　受　　団　　三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社、ＳＭＢＣ日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社および野村證券株式会社

⒄　発行・支払代理人　　株式会社みずほ銀行

⒅　申込取扱場所　　引受会社の本店および国内各支店

⒆　振　替　機　関　　株式会社証券保管振替機構

⒇　調達資金の主な使途　　グリーンボンドで調達する資金は、以下のプロジェクトに充当する予定です。
従来の車両に比べ、高い省エネルギー性能を備えた環境に優しい車両への新造・リニューアルによる置き換え
（例）通勤車両５０００形の新造、通勤車両３０００形のリニューアル等

通勤車両５０００形

【参　考】サステナビリティファイナンス・フレームワークの策定と外部評価の取得

当社は２０２５年１１月に、社会・環境課題の解決に資する事業への資金調達について、透明性と信頼性を高めるため「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」

を策定しました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ＩＣＭＡ）が定める「グリーンボンド原則２０２５」、「ソーシャルボンド原則２０２５」等に基づき、「調達資金の使途」「プロジェクトの評価と選定プロセス」「調達資金の管理」「レポーティング」の４つの要素を定めたものです。

本フレームワークについて株式会社格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）から、適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

■ サステナビリティファイナンス・フレームワーク

（ＵＲＬ：https://www.odakyu.jp/ir/sustainability_finance/pdf/framework.pdf）

■ 適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）

（ＵＲＬ：https://www.odakyu.jp/ir/sustainability_finance/pdf/third_party_opinion.pdf）

以　上